



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月28日

上場会社名 信越化学工業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 4063

URL <https://www.shinetsu.co.jp/jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 斉藤 恭彦

問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長(氏名) 笠原 俊幸 TEL (03) 3246 - 5051

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有(補足資料は当決算短信に綴じ込んでいる)

四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,174,011	△2.7	318,735	△1.8	330,231	0.3	246,836	1.9
2019年3月期第3四半期	1,206,842	13.7	324,622	33.4	329,403	31.6	242,127	39.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 204,970百万円(△14.3%) 2019年3月期第3四半期 239,069百万円(34.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	593.58	593.51
2019年3月期第3四半期	567.56	567.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	3,104,299	2,640,254	82.8	6,184.80
2019年3月期	3,038,717	2,532,556	81.1	5,915.47

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,571,414百万円 2019年3月期 2,465,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2020年3月期	—	110.00	—		
2020年3月期(予想)				110.00	220.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,550,000	△2.8	405,000	0.3	418,000	0.6	314,000	1.6	755.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた記述であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績等は、様々な要素によりこれら業績見通し等とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績等に影響を与え得る重要な要素には、当社及び当社グループ会社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向、対米ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。ただし、業績等に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 15 ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」
をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	416,662,793株
	2019年3月期	427,606,693株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	899,267株
	2019年3月期	10,801,943株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	415,843,760株
	2019年3月期3Q	426,609,237株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 10
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 11
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 11
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 13
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 15
(継続企業の前提に関する注記)	P. 15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 15
(会計方針の変更)	P. 15
(補足資料)	
1. 四半期業績の推移	P. 16
2. 設備投資額と減価償却額 セグメント別実績及び年間予想	P. 17
3. その他決算主要項目	P. 17
4. 貸借対照表 前期末比増減の内訳	P. 18
5. キャッシュフロー計算書の概要	P. 18
6. 配当金の推移	P. 19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～12月31日)の世界経済は、全般的に成長は鈍化し続けており、引き続き各所で調整が見られました。

このような状況のもと、当社グループは、継続的な業績伸長のため、予断をもってあたることなく、常に変化に迅速に対応してまいりました。また、顧客との関係を深耕し、かつ顧客層を拡張し、顧客に密着した製品開発、品質の向上と技術における差別化を推し進めました。加えて、的確な納期対応と厳格なコスト管理を継続し、顧客と市場に応えるための投資を適宜に行ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

また、セグメントごとの状況は次葉以降に記載しております。

	(億円)		
	2019年3月期 第3四半期 (4月～12月)	2020年3月期 第3四半期 (4月～12月)	増減
売上高	12,068	11,740	(△2.7%) △328
営業利益	3,246	3,187	(△1.8%) △59
経常利益	3,294	3,302	(0.3%) 8
親会社株主に帰属する純利益	2,421	2,468	(1.9%) 47
ROIC(年換算)	22.7%	20.4%	△2.3ポイント
ROE(年換算)	13.3%	13.1%	△0.2ポイント
ROA(年換算)	14.8%	14.3%	△0.5ポイント
1株当たり純利益	568円	594円	26円

$$(注) ROIC(投下資本利益率) = \frac{\text{税引後営業利益}}{\text{純資産} + \text{有利子負債} - \text{手持資金}}$$

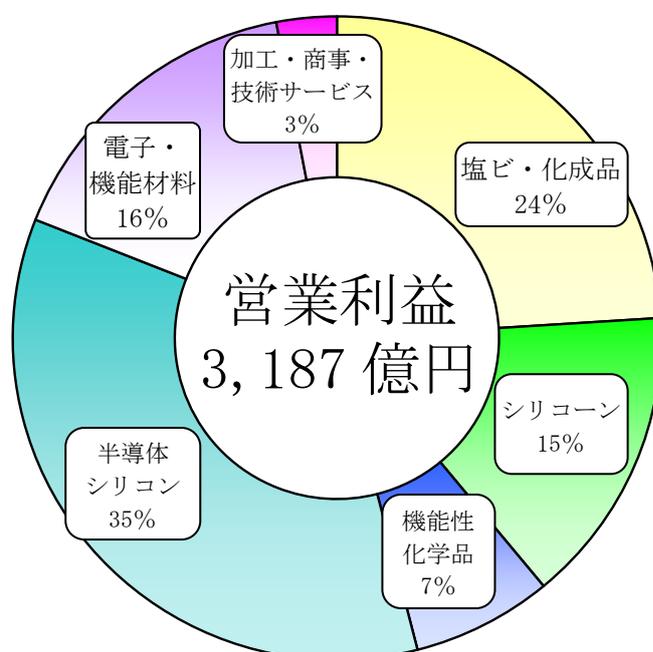
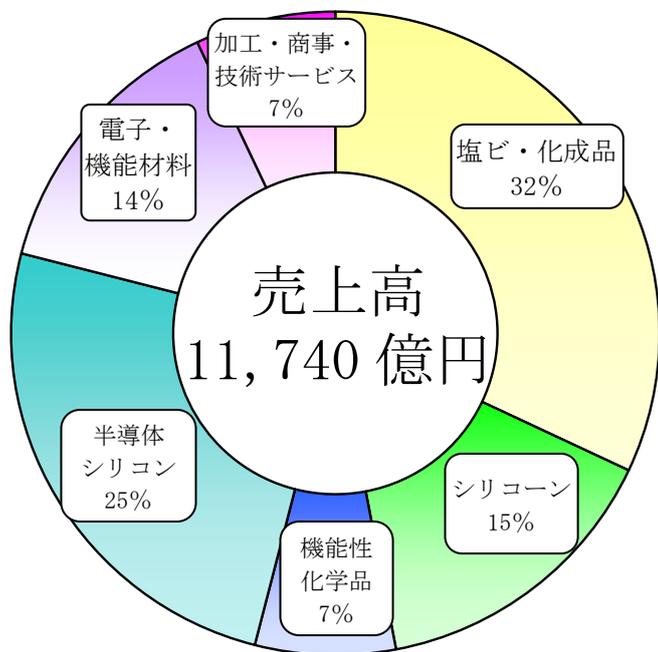
ROIC、ROE(自己資本純利益率)、ROA(総資産経常利益率)の年換算は、それぞれ第3四半期の税引後営業利益、親会社株主に帰属する純利益、経常利益を3分の4倍して算出しております。

※本資料において億円単位で記載している金額は、億円未満を切捨てにより表示しております。

セグメント別売上高と営業利益

(億円)

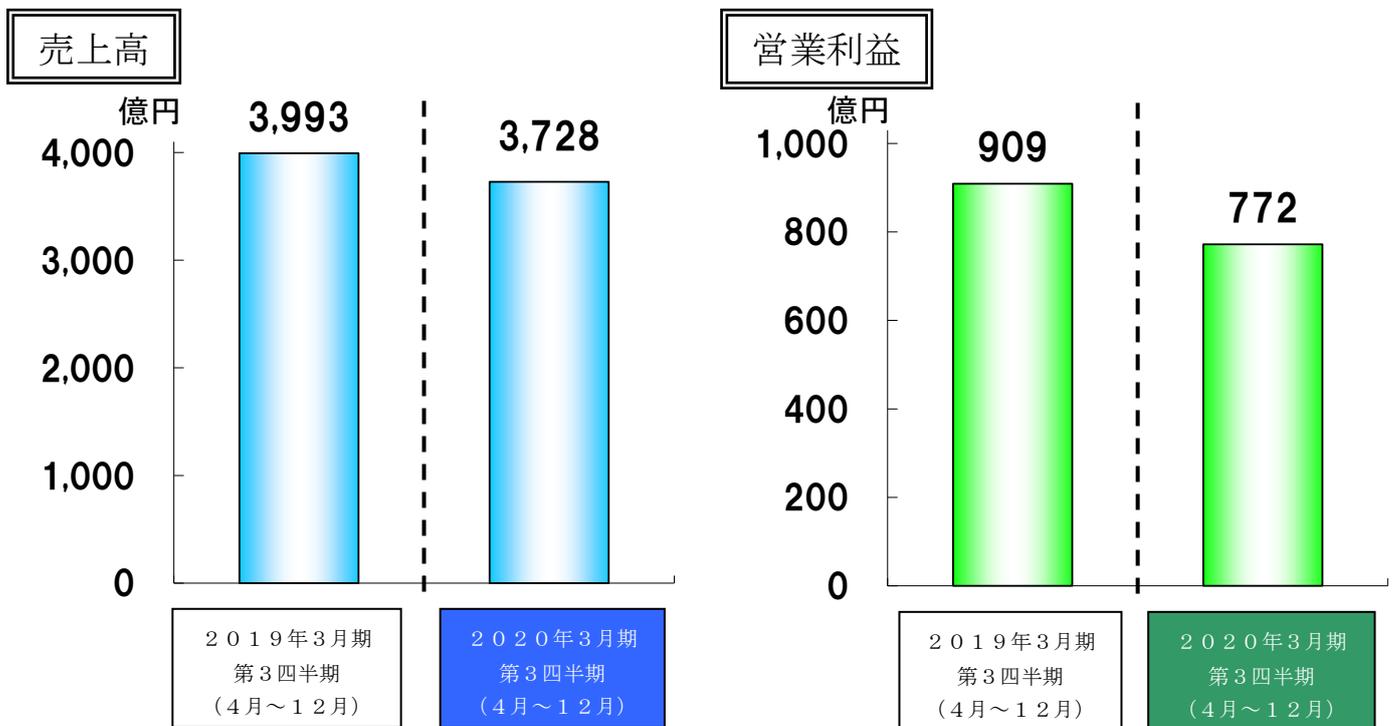
	売上高			営業利益		
	2019年3月期 第3四半期 (4月~12月)	2020年3月期 第3四半期 (4月~12月)	増減	2019年3月期 第3四半期 (4月~12月)	2020年3月期 第3四半期 (4月~12月)	増減
塩ビ・化成品	3,993	3,728	(△6.6%) △ 265	909	772	(△15.1%) △ 137
シリコーン	1,736	1,721	(△0.9%) △ 15	458	470	(2.7%) 12
機能性化学品	923	874	(△5.3%) △ 49	209	213	(1.9%) 4
半導体シリコン	2,856	2,958	(3.6%) 102	1,039	1,121	(7.9%) 82
電子・機能材料	1,726	1,679	(△2.8%) △ 47	524	514	(△2.0%) △ 10
加工・商事・ 技術サービス	831	778	(△6.4%) △ 53	105	110	(5.2%) 5
合 計	12,068	11,740	(△2.7%) △ 328	3,246	3,187	(△1.8%) △ 59



塩ビ・化成品事業

	2018年 4月～12月	2019年 4月～12月	前年同期比 増減率
	(億円)	(億円)	(%)
売上高	3,993	3,728	△6.6
営業利益	909	772	△15.1

塩ビ・化成品は、米国のシンテック社において、塩化ビニル、か性ソーダともに高水準の出荷を継続しましたが、市況の影響を受けました。欧州拠点も市況の影響を受けたものの、底堅い出荷を継続しました。国内拠点は堅調に推移しました。

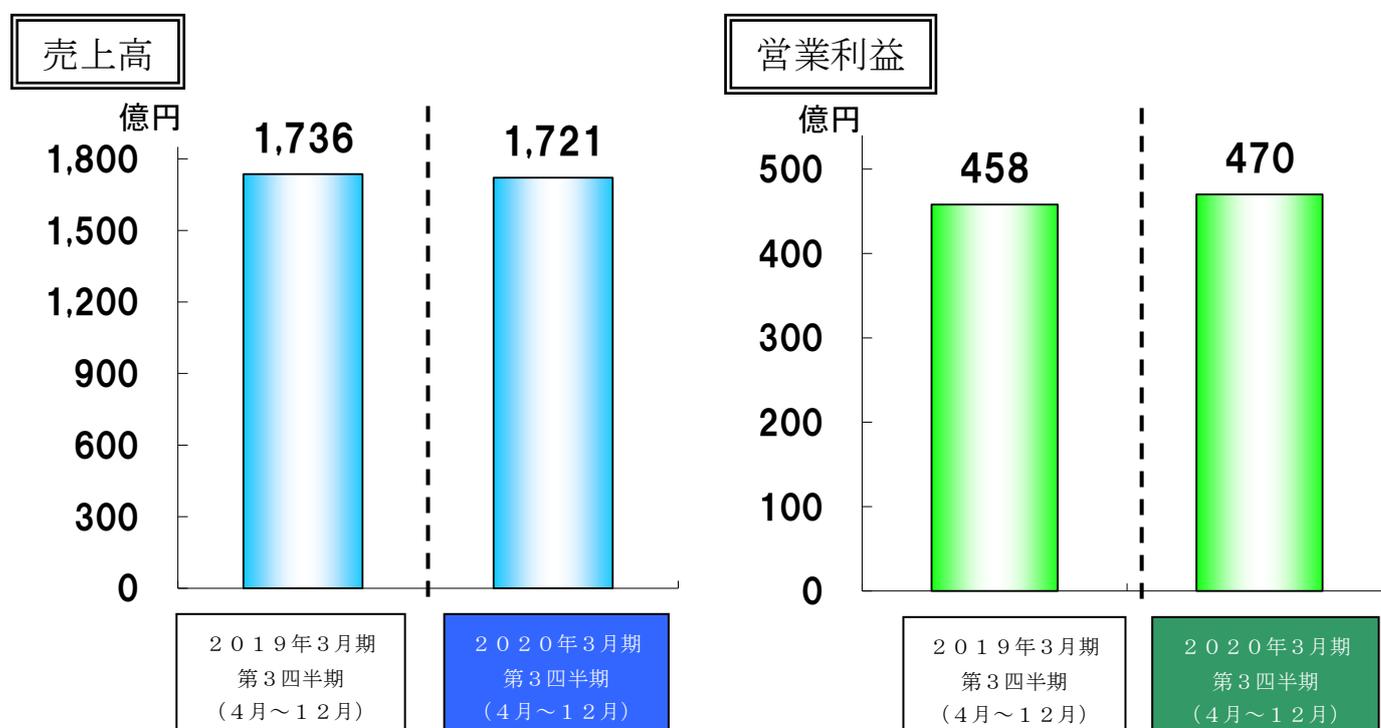


- 塩ビ樹脂は2020年に入り、足許の需要は全般的に復調しています。1月に市況も好転しました。ソーダについてはその市況の反転に期待しています。
- シンテック社のエチレン工場は、目下スタートアップ作業中であります。

シリコン事業

	2018年 4月～12月	2019年 4月～12月	前年同期比 増減率
	(億円)	(億円)	(%)
売上高	1,736	1,721	△0.9
営業利益	458	470	2.7

シリコンは、機能製品を中心に拡販を進めましたが、汎用製品の価格下落の影響を受けました。

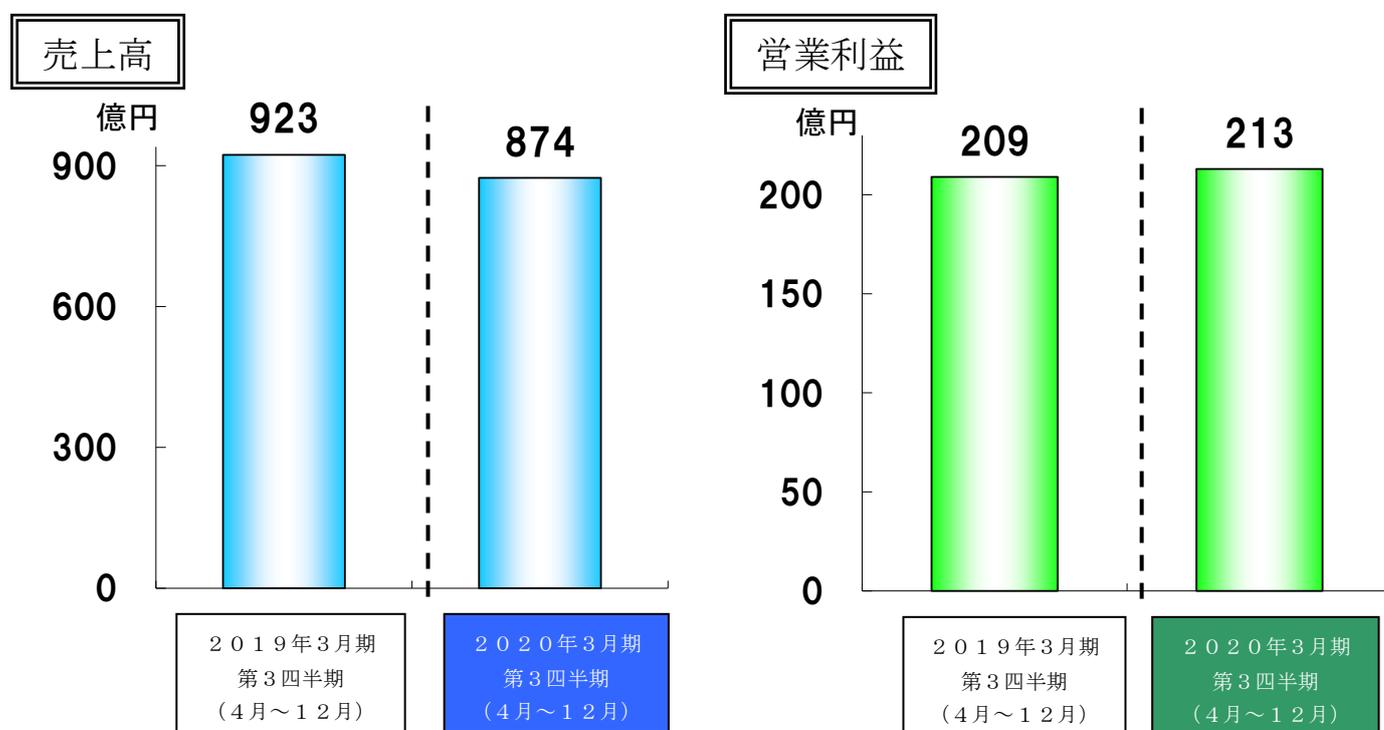


- 機能製品群の増販を継続して推進しています。また、2018年9月に発表した投資計画を着実に進捗させて戦力化していきます。

機能性化学品事業

	2018年 4月～12月	2019年 4月～12月	前年同期比 増減率
	(億円)	(億円)	(%)
売上高	923	874	△5.3
営業利益	209	213	1.9

セルロース誘導体は、医薬用製品は底堅く推移しましたが、建材用製品は一部顧客での販売が振るいませんでした。フェロモン製品は堅調な出荷となりました。ポバール製品は市況の影響を受けました。

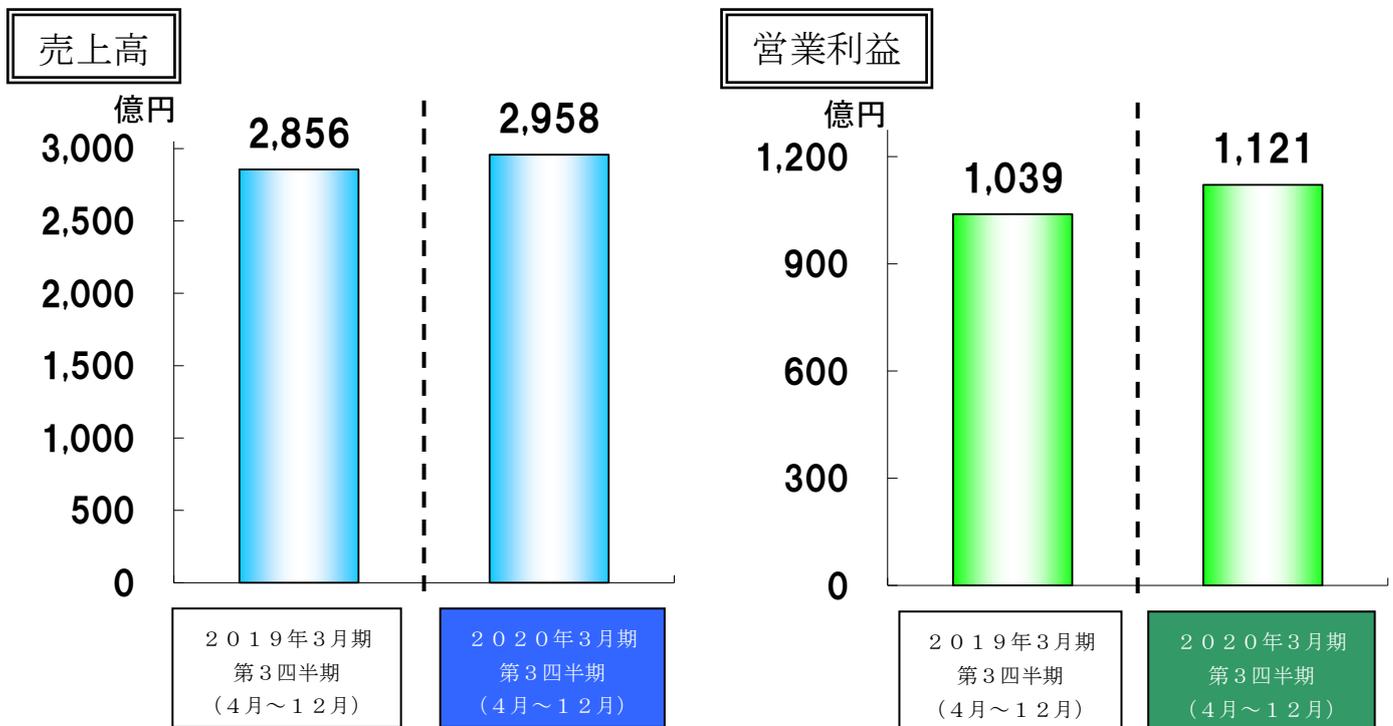


- メチルセルロースの設備投資（日本）は、2019年11月に完了しました。製品構成の高度化を推進中であります。

半導体シリコン事業

	2018年 4月～12月	2019年 4月～12月	前年同期比 増減率
	(億円)	(億円)	(%)
売上高	2,856	2,958	3.6
営業利益	1,039	1,121	7.9

半導体シリコンは、半導体デバイス市場の調整局面の中、価格と出荷水準の維持に努めました。

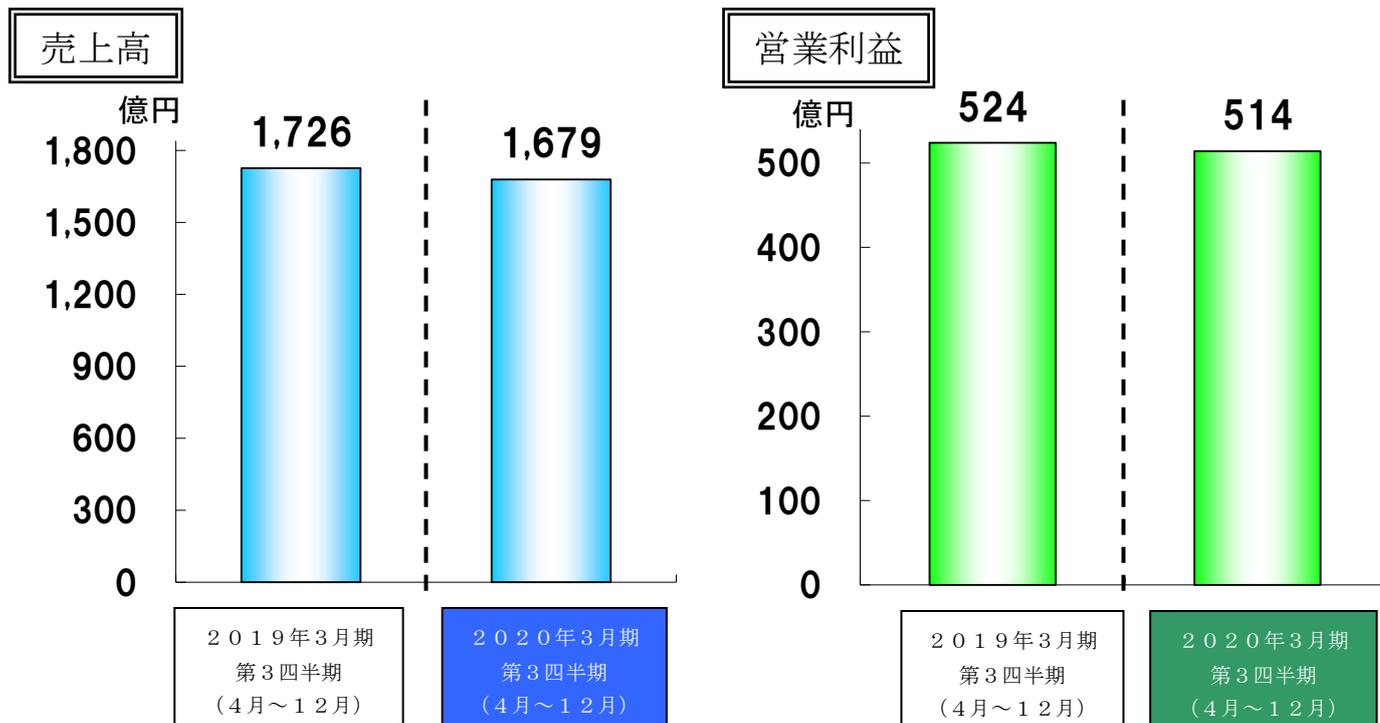


- 半導体デバイス市場は、先端ロジックを中心に回復傾向にあります。メモリも数量ベースで拡大基調に入りました。

電子・機能材料事業

	2018年 4月～12月	2019年 4月～12月	前年同期比 増減率
	(億円)	(億円)	(%)
売上高	1,726	1,679	△2.8
営業利益	524	514	△2.0

希土類磁石は、産業機器向けが引き続き需要鈍化の影響を受けました。自動車向けも期後半より減速感が見られましたが、環境対応車向けを中心に堅調な出荷を維持しました。フォトレジスト製品は、ArFレジストやEUVレジストなど総じて好調に推移しました。マスクブランクスは、先端品を中心に販売を伸ばし好調でした。光ファイバー用プリフォームは、市況悪化の影響を受けて厳しい状況となりました。

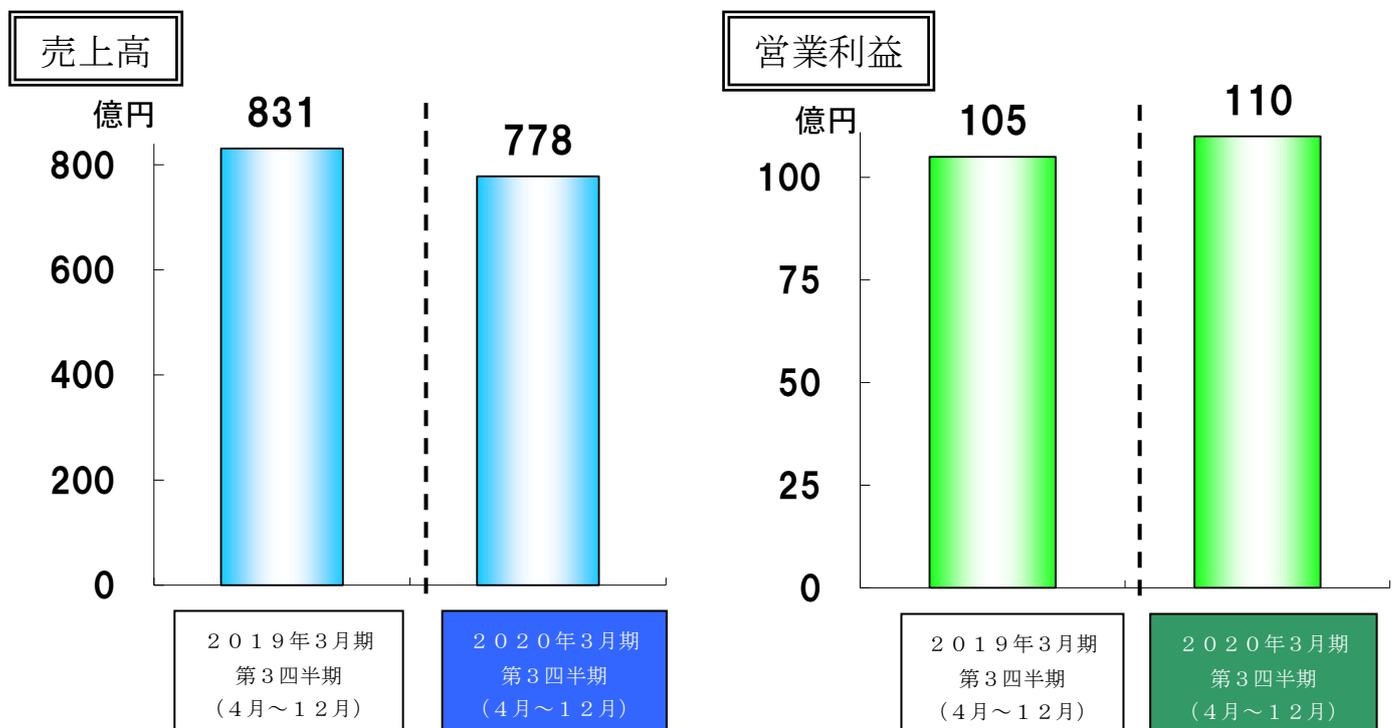


- 希土類磁石は、自動車用、産業機械用、空調用、ハードディスクドライブ用等の各市場に位相の差はありますが、拡販努力を継続していきます。
- 台湾のフォトレジスト新工場は、2019年11月から本格生産を開始しました。
- フォトマスクブランクス能力増強は、2020年4月ごろから一部生産が開始します。

加工・商事・技術サービス事業

	2018年 4月～12月	2019年 4月～12月	前年同期比 増減率
	(億円)	(億円)	(%)
売上高	831	778	△6.4
営業利益	105	110	5.2

信越ポリマー社の半導体ウェハー関連容器が半導体デバイス市場関連投資の減速の影響を受けました。



- 半導体ウェハー関連容器は、半導体デバイスメーカーの能力増強投資の再開に期待していません。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、通商問題や中国経済の動向、米国とイランの関係緊迫化など多くの不確定要因をかかえており、予断を許しません。当社グループの主力製品の中には、原料価格を含め、市況や需給の変動の影響を大きく受けるものがあります。また、当社グループの売上の7割強を海外売上が占め、為替の変動は当社の事業に影響を与えるとともに、海外子会社の業績を日本円に換算する際にも影響を及ぼします。

既述のとおり、業績に影響しうる外部要因が多々ある中で、当社グループは世界の市場に密着して、需要動向を的確に捉えまた変化を活用する販売活動を積極的に展開してまいります。また、生産性と品質の向上に引き続き注力するとともに、コスト競争力をさらに高めて顧客に価値ある製品開発と製品の安定供給に努めてまいります。

特に、人間社会の持続的な発展とその質の向上を、環境負荷を抑えつつ実現する必要性の高まる今日、効率を極めることが必須です。データの高速処理、自動運転、IoT、5G、AIなどの技術はこの目的のために活用され、進歩していくはずです。そのために当社が担い、果たせる役割は大きいと信じています。実際、最近発表した、5G対応製品（石英クロス、熱硬化性樹脂、放熱材、窒化ガリウム基板）はその一例です。今後も当社は、当社の多くの製品がこうした目的に資するよう取り組むとともに、この目的に向かって新製品開発の実を上げてまいります。このことが、「SDGs」に当社が貢献するひとつの方途だと考えています。

本短信表紙に記載のとおり、2019年7月24日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	826,680	805,010
受取手形及び売掛金	338,701	359,002
有価証券	215,444	226,368
たな卸資産	329,494	340,827
その他	47,527	40,973
貸倒引当金	△7,379	△6,817
流動資産合計	1,750,469	1,765,364
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	445,974	415,947
建設仮勘定	255,232	337,677
その他(純額)	286,753	300,309
有形固定資産合計	987,960	1,053,934
無形固定資産	8,740	8,025
投資その他の資産		
投資その他の資産	294,172	279,615
貸倒引当金	△2,624	△2,639
投資その他の資産合計	291,548	276,975
固定資産合計	1,288,248	1,338,935
資産合計	3,038,717	3,104,299

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	141,027	130,894
短期借入金	7,008	8,248
未払法人税等	45,739	26,003
引当金	4,245	3,878
その他	193,833	173,644
流動負債合計	391,854	342,668
固定負債		
長期借入金	7,624	13,519
退職給付に係る負債	30,473	31,809
その他	76,209	76,048
固定負債合計	114,306	121,376
負債合計	506,161	464,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	119,419	119,419
資本剰余金	128,299	128,317
利益剰余金	2,283,760	2,346,463
自己株式	△94,702	△7,951
株主資本合計	2,436,777	2,586,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,955	20,360
繰延ヘッジ損益	△266	△2,866
為替換算調整勘定	5,143	△33,177
退職給付に係る調整累計額	987	850
その他の包括利益累計額合計	28,820	△14,834
新株予約権	1,143	1,998
非支配株主持分	65,814	66,841
純資産合計	2,532,556	2,640,254
負債純資産合計	3,038,717	3,104,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	1,206,842	1,174,011
売上原価	772,039	740,443
売上総利益	434,802	433,568
販売費及び一般管理費	110,179	114,833
営業利益	324,622	318,735
営業外収益		
受取利息	6,369	8,069
受取配当金	2,045	5,274
その他	6,897	5,049
営業外収益合計	15,311	18,393
営業外費用		
為替差損	967	2,920
その他	9,563	3,977
営業外費用合計	10,530	6,897
経常利益	329,403	330,231
特別利益		
投資有価証券売却益	-	7,646
特別利益合計	-	7,646
税金等調整前四半期純利益	329,403	337,878
法人税、住民税及び事業税	83,965	87,746
法人税等調整額	△688	79
法人税等合計	83,277	87,825
四半期純利益	246,125	250,052
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,997	3,216
親会社株主に帰属する四半期純利益	242,127	246,836

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	246,125	250,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,985	△2,625
繰延ヘッジ損益	△321	△2,596
為替換算調整勘定	△556	△39,411
退職給付に係る調整額	951	△134
持分法適用会社に対する持分相当額	△144	△315
その他の包括利益合計	△7,056	△45,082
四半期包括利益	239,069	204,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	235,865	203,182
非支配株主に係る四半期包括利益	3,203	1,788

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年3月12日開催の取締役会決議に基づき、2019年10月7日付で、自己株式96,753百万円(10,943,900株)の消却を実施いたしました。これに伴い、株主資本の合計金額には影響はありませんが、自己株式及び利益剰余金の額が変動しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用する在外子会社において、IFRS第16号「リース」を第1四半期連結会計期間より適用しております。当該会計基準の適用が連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱いに関する改正実務対応報告等の適用)

改正実務対応報告第18号「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」(2019年6月28日)及び、改正実務対応報告第24号「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(2018年9月14日)を、第1四半期連結会計期間より適用しております。当該改正実務対応報告の適用が連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(補足資料)

1. 四半期業績の推移

(単位：億円)

	2019年3月期					2020年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第3四半期 累計
	2018年 4-6月	2018年 7-9月	2018年 10-12月	2019年 1-3月		2019年 4-6月	2019年 7-9月	2019年 10-12月	
売上高	3,836	4,080	4,151	3,871	15,940	3,862	4,003	3,874	11,740
塩ビ・化成品	1,231	1,387	1,374	1,249	5,242	1,228	1,303	1,196	3,728
シリコーン	556	582	598	596	2,333	563	584	573	1,721
機能性化学品	305	292	325	288	1,211	289	293	292	874
半導体シリコン	909	964	981	947	3,803	990	974	992	2,958
電子・機能材料	560	588	577	534	2,260	547	566	564	1,679
加工・商事・ 技術サービス	272	265	294	255	1,087	242	280	255	778
営業利益	954	1,138	1,153	790	4,037	1,075	1,030	1,082	3,187
塩ビ・化成品	263	333	312	155	1,065	253	263	255	772
シリコーン	135	155	167	127	585	159	151	159	470
機能性化学品	68	66	75	56	266	75	63	74	213
半導体シリコン	300	366	373	280	1,319	394	350	376	1,121
電子・機能材料	160	181	183	145	669	166	167	181	514
加工・商事・ 技術サービス	30	34	40	27	132	35	36	37	110
経常利益	994	1,176	1,122	859	4,153	1,089	1,093	1,120	3,302
親会社株主に帰属する 当期純利益	737	850	833	669	3,091	840	809	818	2,468
減価償却費	290	328	354	402	1,375	316	337	317	970
設備投資	449	528	661	768	2,406	563	605	622	1,791
研究開発費	137	130	145	150	564	129	118	114	362
海外売上高	2,787	3,022	3,068	2,930	11,808	2,809	2,958	2,835	8,603
連結売上高に 占める割合	73%	74%	74%	76%	74%	73%	74%	73%	73%

2. 設備投資額と減価償却額 セグメント別実績及び年間予想

(億円)

	2019年3月期 第3四半期 (4月~12月)	2020年3月期 第3四半期 (4月~12月)
設備投資額	1,638	1,791
塩ビ・化成品	498	602
シリコン	174	227
機能性化学品	125	174
半導体シリコン	512	439
電子・機能材料	263	328
加工・商事・技術サービス	65	34
減価償却額	972	970
塩ビ・化成品	244	260
シリコン	101	116
機能性化学品	79	77
半導体シリコン	366	331
電子・機能材料	147	150
加工・商事・技術サービス	35	36

年間

	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (予想)
設備投資額	2,406	2,700
減価償却額	1,375	1,400

3. その他決算主要項目

(億円)

	2019年3月期 第3四半期 12月末	2020年3月期 第3四半期 12月末	2019年3月末
純資産	25,807	26,402	25,325
総資産	30,498	31,042	30,387
1株当たり純資産	5,893円	6,185円	5,915円
有利子負債残高	151	217	146
期末従業員数	21,452人	22,277人	21,735人
為替レート：1-9月平均 (US\$) 4-12月平均	109.6 111.1	109.2 108.7	

(注) 1-9月平均の為替レートは、海外子会社の損益を連結する際に使用しました。

4. 貸借対照表 前期末比増減の内訳

(億円)

	2019年 3月末	2019年 12月末	前期末比	内訳		2019年 3月末	2019年 12月末	前期末比	内訳		
				海外子会社 換算レート差 による影響	実質増減				海外子会社 換算レート差 による影響	実質増減	
流動資産	17,504	17,653	149	△261	410	流動負債	3,918	3,426	△492	△35	△457
現金・預金	8,266	8,050	△216	△153	△63	支払手形 買掛金	1,410	1,308	△102	△17	△85
受取手形 売掛金	3,387	3,590	203	△54	257	短期借入金	70	82	12	8	4
有価証券	2,154	2,263	109	0	109	未払法人税等	457	260	△197	△2	△195
たな卸資産	3,294	3,408	114	△48	162	その他	1,980	1,775	△205	△24	△181
その他	401	341	△60	△6	△54	固定負債	1,143	1,213	70	△35	105
						負債合計	5,061	4,640	△421	△70	△351
固定資産	12,882	13,389	507	△233	740	株主資本	24,367	25,862	1,495	0	1,495
有形固定資産	9,879	10,539	660	△218	878	その他の包括 利益累計額	288	△148	△436	△410	△26
無形固定資産	87	80	△7	△3	△4	新株予約権 非支配株主持分	669	688	19	△14	33
投資その他の 資産	2,915	2,769	△146	△12	△134	純資産合計	25,325	26,402	1,077	△424	1,501
資産合計	30,387	31,042	655	△494	1,149	負債・純資産 合計	30,387	31,042	655	△494	1,149

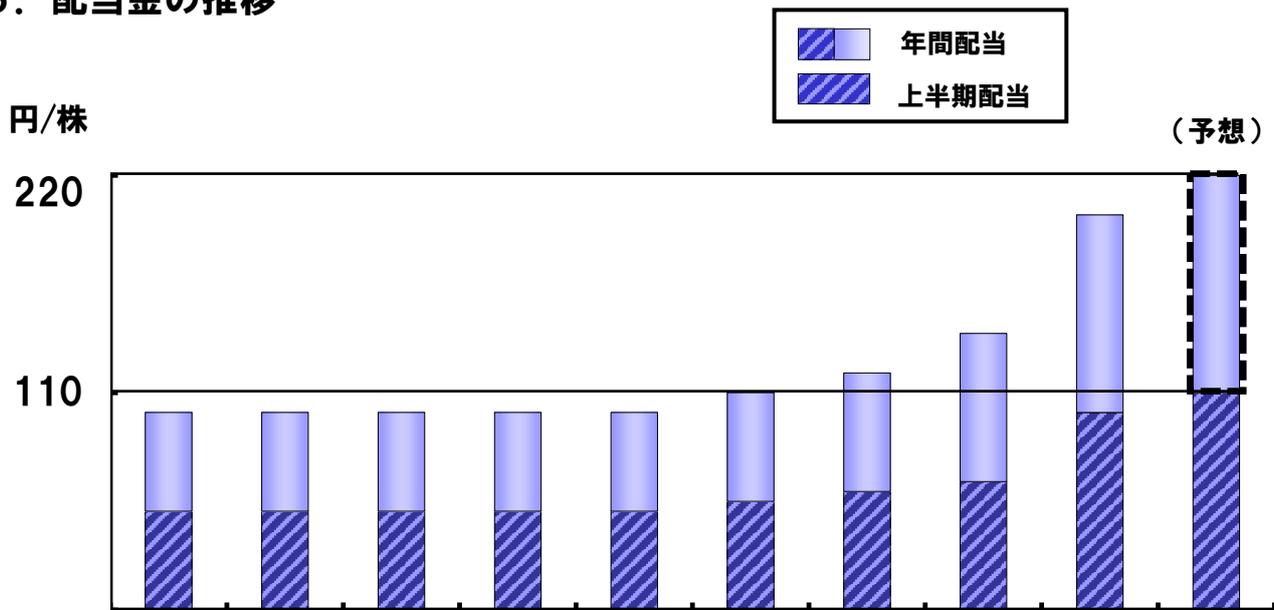
5. キャッシュフロー計算書の概要

(億円)

	2019年3月期 第3四半期 (4月~12月)	2020年3月期 第3四半期 (4月~12月)	増減
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,664	2,800	136
税金等調整前純利益	3,294	3,378	84
法人税等の支払額	△1,125	△1,039	86
減価償却費	972	970	△2
運転資本の増減額	△472	△500	△28
その他	△4	△9	△5
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△371	△2,420	△2,049
設備投資支出	△1,603	△1,894	△291
有価証券増減額	333	10	△323
定期預金の増減額	970	△527	△1,497
その他	△72	△8	64
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△764	△959	△195
借入金増減額	△0	75	75
配当金支払額	△746	△874	△128
自己株式取得額	△0	△105	△105
その他	△17	△56	△39
IV 換算差額ほか	33	△131	△164
現金・現金同等物増減額	1,562	△711	△2,273
現金・現金同等物残高	9,379	7,572	△1,807
有利子負債残高	151	217	66

(注) 簡略的な方法により作成しております。

6. 配当金の推移



		2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
配当金	上半期	50円	50円	50円	50円	50円	55円	60円	65円	100円	110円
	年間	100円	100円	100円	100円	100円	110円	120円	140円	200円	※220円
1株当たり 当期純利益	年間	235.8円	237.0円	248.9円	267.2円	302.0円	349.5円	412.9円	624.3円	726.0円	※755.2円
配当性向	年間	42.4%	42.2%	40.2%	37.4%	33.1%	31.5%	29.1%	22.4%	27.5%	※29.1%

※ 予想